

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

ついに実現！

喜びの声が
寄せられました

「23区で最低の福祉」が改善

区民の運動と共産党の議会論戦が力に

4月からの

新年度予算案で実現

- 1、入院時の紙おむつ代の現金支給：
制度なし（23区で品川区だけ）⇒月5000円（14位）
- 2、在宅者への紙おむつ現物支給
月3138円（23位）⇒5000円（13位）
- 3、緊急通報システム利用料
住民税非課税世帯：月500円（22位）⇒300円（18位）
課税世帯：月1800円（23位）⇒1000円（20位）
- 4、福祉タクシー利用券
年額27,600円（月2300円：22位）⇒年42000円（月3500円・6位）
- 5、難病手当
月10000円（23位）⇒15,500円（2位）
- 6、障害者福祉手当：知的4度
月4500円（22位）⇒8500円（10位）
- 7、障害者福祉手当：身体3級
月4500円（22位）⇒8500円（9位）



その他、○認知症高齢者グループホーム家賃助成
月24,000円（対象：住民税非課税世帯で年間所得120万円以下）

区の新年度の予算で、区長・区議補欠選挙で大争点になり、共産党が「23区で最低の品川区の福祉の底上げを」と求めてきた7項目がすべて実現することになりました。請願署名運動と共産党の議会での論戦が実現の力に。高齢者や障害者団体の方々から喜びの声が寄せられました。

日本共産党は、昨年10月の区長・区議補選で、「濱野区政は、超高層ビルの開発や巨大大道路づくりには巨額の税金を使いながら、福祉は23区で最低。日本一の健全財政を自慢し、

777億円もため込んだ基金を使い福祉の底上げを」と訴え、開発・道路問題とともに23区で最低の品川の福祉が大争点になりました。

（裏面に続く）

請願に自民・公明・民主・無所属が反対

この間、紙オムツ支給、緊急通報システム、福祉タクシー券の充実など繰り返し請願署名運動にとりくんできました。

昨年12月議会には、品川の医療と介護をよくする会から「紙おむつ入院時現金支給と在宅での支給枚数増、緊急通報システムの利用料無料化を求める請願」が提出され、審議されました。

自民党…「23区で最低とあるが本当なのか確認したい」

区担当課長…「緊急通報システム利用料、紙おむつ支給は金額だけと比較すると確かに最後になる」と、区も23区で最低を認めざるをえませんでした。

請願には、共産党のみが賛成、自民・公明・民主・無所属が反対し否決されました。しかし、財政は豊かな品川区がなぜ福祉は最低なのか、最低の福祉のために区民がどれほどつらい思いをしているか、区民の実態を突きつけた共産党の論戦と区民の運

動で、今回新年度予算で7項目の実現となりました。

区民から喜びの声

障害者団体の方や長期入院の方々から、福祉手当やタクシーの増額、紙おむつ代入院時現金支給制度の実現に「長い間の運動が実って本当によかった。23区調査した甲斐があつたね」「2倍近くに上がるなんて本当にうれしい」など喜びの声が寄せられました。

これを力にこれからも福祉の充実に頑張ります。

無料 法律・生活相談会

2月25日(水)
午後6:00~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 3783-8833
弁護士さんが対応します。
遺産相続や借金、離婚、医療や介護、どんな問題でもお気軽に。

共産党区議団が濱野区長に申し入れ 「今年4月、保育園待機児を一人も出さないための緊急対策を求める」

共産党は2月3日、濱野区長に対して、今年の4月に待機児童を一人も出さないための緊急対策をとることを求める要望書を提出しました。

昨年4月に認可保育園を申し込んで入れなかった子どもは870人。区は、今年も昨年を上回る申請になると見込んでいましたが、新規の認可保育園開設は民間の2園・140人分、保育ママや認証保育園の開設を含めても254人分に過ぎません。区立認可保育園は1つもありません。

実際、今年の申し込みは約3000人に上り、区は「受け入れ可能数は1318人」と答弁しています。このままでは昨年を超える多くの子どもたちが入園できず、路頭に迷うこととなります。

申し入れは以下の通りです。

今から、4月に1人も待機児を出さない対策をとること。
例えば旧荏原四中や一日野小跡地の活用計画の一部見直しなど区有地の活用、民間ビルの空きフロアの活用、民間借上げなどあらゆる可能性を追求すること。



左から、桑村副区長、なかつか亮・南恵子・いぬま雅子・鈴木ひろ子・石田ちひろの各区議